

乾燥減量 0.20 % 以下 (1 g, 減圧, 105 °C, 4 時間).

強熱残分 0.10 % 以下 (1 g).

定量法 本品を乾燥し, その約 1.5 g を精密に量り, ジメチルスルホキシドに溶かし, 正確に 25 mL とする. この液 5 mL を正確に量り, 水 100 mL 及び水酸化ナトリウム試液 5 mL を加え, ジクロロメタン 50 mL ずつで 3 回抽出する. ジクロロメタン抽出液は毎回脱脂綿上に無水硫酸ナトリウムをおいた漏斗でろ過する. 全ジクロロメタン抽出液を合わせ, 減圧で蒸発乾固する. 残留物を酢酸 (100) 70 mL に溶かし, 0.05 mol/L 過塩素酸で滴定する (電位差滴定法). 同様の方法で空試験を行い, 補正する.

0.05 mol/L 過塩素酸 1 mL = 20.400 mg $C_{15}H_{21}N_3O_2S_3 \cdot HCl$

貯法

保存条件 遮光して保存する.

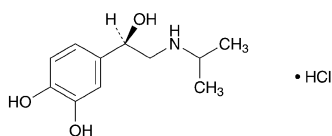
容器 気密容器.

l-塩酸イソプレナリン

l-Isoprenaline Hydrochloride

l-イソプレナリン塩酸塩

l-塩酸イソプロテレノール



$C_{11}H_{17}NO_3 \cdot HCl$: 247.72

(1*R*)-1-(3,4-Dihydroxyphenyl)-2-(isopropylamino)ethanol monohydrochloride [51-30-9]

本品を乾燥したものは定量するとき, *l*-塩酸イソプレナリン ($C_{11}H_{17}NO_3 \cdot HCl$) 98.0 % 以上を含む.

性状 本品は白色の結晶性の粉末で, においはない.

本品は水に溶けやすく, エタノール (95) にやや溶けにくく, 酢酸 (100), 無水酢酸, ジエチルエーテル又はクロロホルムにほとんど溶けない.

本品は空気又は光によって徐々に着色する.

確認試験

(1) 本品 0.01 g を水 5 mL に溶かし, 塩化鉄 (III) 試液 1 滴を加えるとき, 液は濃緑色を呈し, 放置するとき, 黄緑色を経て褐色に変わる.

(2) 本品 1 mg ずつを試験管 A 及び B にとり, それぞれに水 1 mL ずつを加えて溶かし, A に pH 3.5 のフタル酸水素カリウム緩衝液 10 mL を, B に pH 6.5 のリン酸塩緩衝液 10 mL を加える. それぞれにヨウ素試液 1 mL ずつを加えて 5 分間放置した後, チオ硫酸ナトリウム試液 2 mL ずつを加えるとき, A は赤色を呈し, B は濃赤色を呈する.

(3) 本品 0.01 g を水 1 mL に溶かし, リンタングステン酸試液 1 mL を加えるとき, 淡褐色の沈殿を生じる.

(4) 本品の 0.1 mol/L 塩酸試液溶液 (1 → 20000) につき, 紫外可視吸光度測定法により吸収スペクトルを測定し,

本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき, 同一波長のところに同様の強度の吸収を認める.

(5) 本品の水溶液 (1 → 10) は塩化物の定性反応 (2) を呈する.

旋光度 $[\alpha]_D^{20}$: -36 ~ -41° (乾燥後, 0.25 g, 水, 25 mL, 100 mm).

pH 本品 0.10 g を水 10 mL に溶かした液の pH は 4.5 ~ 5.5 である.

純度試験

(1) 溶状 本品 1.0 g を 0.1 mol/L 塩酸試液 20 mL に溶かすとき, 液は無色澄明である.

(2) 硫酸塩 本品 0.10 g をとり, 試験を行う. 比較液には 0.005 mol/L 硫酸 0.40 mL を加える (0.192 % 以下).

(3) 重金属 本品 1.0 g をとり, 第 1 法により操作し, 試験を行う. 比較液には鉛標準液 2.0 mL を加える (20 ppm 以下).

(4) イソプロテレノン 本品 0.050 g をとり, 0.01 mol/L 塩酸試液に溶かし, 正確に 25 mL とする. この液につき, 紫外可視吸光度測定法により試験を行うとき, 波長 310 nm における吸光度は 0.040 以下である.

乾燥減量 0.5 % 以下 (1 g, 減圧, シリカゲル, 4 時間).

強熱残分 0.20 % 以下 (1 g).

定量法 本品を乾燥し, その約 0.5 g を精密に量り, 酢酸 (100) / 無水酢酸混液 (3 : 2) 100 mL を加え, 加温して溶かす. 冷後, 0.1 mol/L 過塩素酸で滴定する (電位差滴定法). 同様の方法で空試験を行い, 補正する.

0.1 mol/L 過塩素酸 1 mL = 24.772 mg $C_{11}H_{17}NO_3 \cdot HCl$

貯法

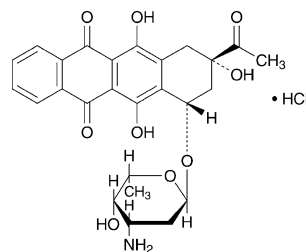
保存条件 遮光して保存する.

容器 気密容器.

塩酸イダルビシン

Idarubicin Hydrochloride

イダルビシン塩酸塩



$C_{26}H_{27}NO_9 \cdot HCl$: 533.95

(2*S*, 4*S*)-2-Acetyl-1-4-(3-amino-2,3,6-trideoxy- α -L-lyxo-hexopyranosyloxy)-1,2,3,4-tetrahydro-2,5,12-trihydroxynaphthacene-6,11-dione monohydrochloride [57852-57-0]

本品は定量するとき, 換算した脱水物 1 mg 当たり 960 μ g (力価) 以上を含む. ただし, 本品の力価は, 塩酸イダ